





活動紹介!

ロボット教室

主に小学生を対象にしたロボットを制作する教室です。ロボットの材料は、写真のようにレゴを使います。テキストを見ながら、2人で1つを仕上げるペースで、それぞれ違ったロボット作りに取り組みます。モーターを使って、どこをどのように動かすのか、頭を働かせながら作るところが魅力です。ロボットコースの他にもプログラミングコースもあります。子ども達が、作り方を教え合ったりしながら楽しそうに活動をしています。



2月の催しから

- 1(水) 映画会「教育と愛国」 
- 4(土) 無実の死刑囚 袴田さんを救う会
- 11(土) あんずの木コンサート
- 12(日) 東久留米保育・教育・子育てを考える会
- 18(土)・19(日) なでしこ幼稚園作品展 
- 19(日) ・小堤ピア / 発表会
・くるめ ザ・コメディ① 
- 26(日) ・武蔵野楽器発表会
・くるめ ザ・コメディ② 

これらはあくまでも予定ですので変更もございます。一般の方の参加の可否等、詳細は主催者までお尋ねください。

会館事務室から



今月の話題— 食糧確保

国連は、2021年の世界のおよそ8億2800万人、世界の人口の約9.8%にあたる人々が飢餓状態に置かれていると公表しました。世界人口の増加に伴って、今後、飢餓人口はますます増加していくと予想されています。

各国とも、自国の食料安全保障は極めて重要な課題です。様々な取組の中で、特にたんばく源の供給を確保する上で、注目を集めているものが昆虫食です。ある地域では、甲虫類やイモムシの仲間の昆虫を伝統食として食べていることが知られています。しかし、今、特に目を向けられているのは、コオロギを中心としたバッタ類です。その理由は、食糧として優れた様々な条件が備わっているからです。例えば、育てやすい、栄養価が高い、育てる上で環境に与える負荷が少ない、などです。

実際、コオロギを粉末にしてパンやせんべい、チョコレートに混ぜるなど、すでに実用化が進んでいます。昆虫食以外にも、培養肉の開発、ITやロボットの活用など様々な食料増産の試みが行われていることは、ご存じの通りです。いずれも現在の飢餓人口を減らす上で大きく役立つことが期待されています。

